

各位

海洋博公園管理センター

100 年前の琉球に会える

ウィルソンが見た沖縄 ～琉球の植物研究史 100 年と共に～ 開催

海洋博公園 熱帯ドリームセンターは企画展「ウィルソンが見た沖縄～琉球の植物研究史 100 年と共に～」を 11 月 3 日（金・祝）から開催します。英国人プラントハンター、E. H. ウィルソンが 100 年前に沖縄で撮影した貴重な写真と、現在の沖縄の写真とを併せて展示し、100 年前と現在との生活や風景の変化をご紹介します。

屋久島の「ウィルソン株」で知られる英国人プラント・ハンター、E. H. ウィルソンは 1917（大正 6）年に沖縄を訪れ、59 枚の写真を撮影しました。ハーバード大学に眠っていたこの写真が古居智子氏によって発見され、公に展示されるのは今回が初めてです。ガラス乾板に写し取られた 100 年前の風景は、沖縄の歴史を知るうえで貴重なものです。

そこには暮らしと共にあった植物を通して消えゆく時代を愛おしむ撮影者の眼差しが感じられます。ウィルソンの人物像、採集された植物標本、現在につながる琉球植物誌の系譜に合わせて、同じポイントから撮影した現在写真もご紹介します。自然環境や生活文化の変化とともに、ウィルソンが私たちに残したメッセージに思いを馳せていただければと思います。

その他、連綿と続く沖縄県の植物研究について、天野鉄夫氏や坂口總一郎氏の資料とともにご紹介します。

日時：平成 29 年 11 月 3 日（金・祝）～平成 30 年 1 月 7 日（日）
8：30～17：30（入館締切 17：00）

場所：熱帯ドリームセンター

料金：入館料のみ（大人 690 円、小人 350 円）

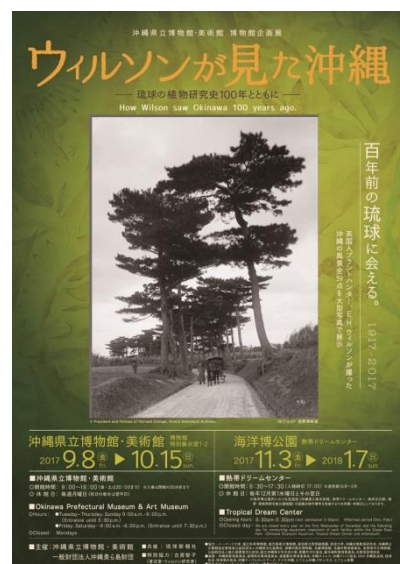
主催：沖縄県立博物館・美術館、（一財）沖縄美ら島財団

共催：琉球新報社

特別協力：古居 智子（著述家・ウィルソン研究家）

協力：ハーバード大学、国立科学博物館、鹿児島県立博物館、
高知県立牧野植物園、琉球大学理学部、沖縄生物学会、
沖縄生物教育研究会、沖縄県文化振興会、那覇市歴史博物館、
名護博物館、名護市教育委員会、宜野湾市立博物館、
屋久島環境文化財団、国立沖縄青少年交流の家、
那覇市文化協会、古都首里探訪会

後援：沖縄県教育委員会、座間味村教育委員会、渡嘉敷教育委員会、沖縄タイムス、NHK 沖縄放送局、
琉球放送、沖縄テレビ放送、琉球朝日放送、沖縄ケーブルネットワーク、ラジオ沖縄、
エフエム沖縄、FM レキオ、エフエム那覇



<お問い合わせ>

海洋博公園管理センター イベント・広報担当 TEL :0980-48-2741 FAX:0980-48-3626